

## 使用済燃料再処理機構 第27回運営委員会 議事概要

- 1 開催日時 平成30年6月8日(金) 15:30~17:30
- 2 開催場所 使用済燃料再処理機構 会議室
- 3 出席委員 近藤駿介(委員長)、中根猛(委員長代理)、徳植桂治、  
永田高士、山口彰、四元弘子  
出席理事 井上茂(理事長)、村永慶司、関口恭三、出光一哉、豊松秀己  
同席者 山上圭子(監事)

### 4 議事の経過および結果

#### (1) 委員会の成立状況の確認

本日の運営委員会の出席者は11名であり、定款第11条第1項に定める運営委員会の成立要件である総数の過半数が出席しているため、本委員会が成立したことを確認した。

#### (2) 議案審議および自由討議

##### 【決議事項】

##### 第1号議案 2017事業年度決算決定等の件

○事務局から、2017事業年度決算等に関する議案の説明がなされた。また、監事から、当該事業年度の業務執行について監査した結果、適正に実施されていること、ならびに財務諸表および決算報告書は適正であると認めるとの報告がなされた。

○委員長が議案に対する賛否を議場に諮ったところ、原案に対して一部記載の適正化を図ることで、全員異議なく賛成し決定した。

##### 【報告事項】

##### a. 主な業務の執行状況について

理事長から、主な業務の執行状況について説明を行った。

<添付資料>

[「主な業務の執行状況」](#)

##### b. コンプライアンスの推進状況および業務情報の管理状況について

理事から、コンプライアンスの推進状況と業務情報の管理状況について説明を行った。それらの内容をもとに自由討議を行った結果、委員から、コンプライアンスに関しては、昨今の企業不祥事を他山の石として、社会規範にも目を向けた職場風土づくりを進めること、業務情報の管理に関しては、一過性でなく継続して改善していく仕組みを根付かせる必要があるとのコメントがなされ、これらの意見を踏まえた業務運営を行っていくこととした。

c. 再処理事業等の状況について

事務局から、再処理事業等の実績確認について、試行結果等を踏まえた今後の手法に関する報告を受けた。それらの内容をもとに自由討議を行った結果、委員から、手法として異論はないが、PDCA サイクルを適宜かつ適切に回すことが重要であることや、再処理事業等の事業環境の動向にも注視して、実績確認を行うことが必要とのコメントがなされ、事務局において、討議内容を踏まえて、費用の支出実績や業務プロセス等を確認していくこととした。

d. その他

事務局から、2017 事業年度の余裕金運用実績について報告を受けた。

(3) その他

委員長が議事概要に記名する者として、委員長の他、中根委員長代理および井上理事長の3名を指名したい旨を提案したところ、全員異議なく賛成した。

本運営委員会の議事の経過概要およびその結果を明確にするため本議事概要を作成し、前記3名は次のとおり記名押印する。

使用済燃料再処理機構  
運営委員会

委員長                      近藤 駿介                      印

委員長代理                  中根 猛                      印

理事長                      井上 茂                      印

以 上